

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立御所ヶ丘小学校

1 はじめに

本年度、本校では、小中一貫教育の視点を踏まえ、英語の日常化を図り、「コミュニケーション能力」の育成を目指した。市の英語教育の目標である「コミュニケーション能力を図るための積極性、豊かな自己表現力、伝える内容を整理する構成力、様々な分野における幅広い知識、相手を尊敬する態度」の5つのポイントを受け、ALTと学級担任が協力しながら、コミュニケーションを図る場面を多く取り入れた授業を展開した。さらに、外国の文化を身近に触れられる環境を用意することで英語に対する親しみを感じ、英語を学ぶ意欲の向上に努めた。

2 具体的な実践内容

(1) 特例としての取組

〈低学年〉

- ・自分と身近な人々とのかかわりに関する取組として、簡単な自己紹介をしたり、自分の体調を伝えたり、相手に尋ねたりする表現に親しんだ。

〈中学年〉

- ・ペアやグループ対抗のゲーム活動を行い、自らのことを話したり、相手のことを知ろうとして質問したりして、楽しくコミュニケーションを図りながら交流を図った。
- ・オーストラリアの自然やイースター、ハロウィーンやクリスマスなどの文化について触れ、国際的な知識を深めた。

(2) 小中一貫教育の視点を意識した取組

〈高学年〉

- ・中学校区のALTに協力してもらい、Communication Challengeに取り組んだ。
- ・phonics指導として母音5つ(a,i,u,e,o)の指導を開始した。
- ・感謝祭の起源について理解し、感謝する相手、感謝することを英語で表記する活動を行った。
- ・中学校に向けて発表する力を高めるために、世界地図に国旗や英語で表記した国名を掲示して、自分で行ってみたい国とそこで何をしてみたいかを英語で発表する活動を行った。

3 学校独自のアプローチ

(1) 環境整備

- ・各クラスにEタイムの様子を掲示し、活動をふり返るコーナーを作った。
- ・階段に数や動物の名前などの英語と絵カードを貼った。

(2) 授業以外の活動

- ・英語クラブでは、11回の活動を行った。ゲームを通して、自己紹介や形容詞と名詞のつながり、英和辞書と和英辞書の使い方などを学んだりする活動を行った。授業よりレベルアップした内容で、参加した児童一人一人の好奇心を高めるよう工夫した。
- ・放課後自由クラブの発足。3学期より毎週金曜日の放課後、自主的に英語を学びたい児童だけを対象に英語活動を行った。歌を歌ったりゲームを通してさらに英語に対する興味関心をもてるように活動した。
- ・ストーリータイムの設置。低・中学年を対象に朝自習の時間を活用し、英語の読み聞かせ時間をもった。10分間の話を映像と共に見聞きし、Q&A方式で簡単に内容を確認する活動を行った。

4 成果と課題

(1) 実施による効果

- ・ネイティブな発音を身近に聞くことができ、リスニング力の向上に効果的である。また、発音に関してもカタカナ英語ではなく、ネイティブな発音で答えられる児童が増えた。
- ・ALTが個々の児童の実態をよく把握しているため、個に応じた対応を事前にプランニングすることができ、一人一人の意欲を高めることができた。
- ・全学年、表現力を育成するためのカリキュラムが組まれているため、英語に対する苦手意識、照れや恥じらいがなく、表現活動が積極的になりコミュニケーション能力向上につながっている。
- ・外国語活動において様々な活動を取り入れ英語に触れる機会を多くもったため、児童からもっと覚えたい、やりたい等意欲的な発言が聞かれるようになった。

(2) 課題と今後の取組

- ・各学年の状況や今年度新設した活動を振り返り、さらに充実した活動になるようALTと年間計画の見直し、運営の改善を図っていく。
- ・ALTや担任とだけでコミュニケーション能力を高めるのではなく、全職員でコミュニケーション能力を高めるという意識化を図る。

